

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

日本 大学 高橋淑郎 ゼミ A パート

22

部門番号 部門名 経営学総論

テーマ 企業経営と AI

サブテーマ 経営における AI の機能と利活用の限界

### 趣意文

昨今注目されている人工知能（AI）の技術が、様々な分野の企業の経済活動に影響を及ぼしていることは周知の事実である。製造業のみならずサービス業においても業務の一部を AI に置き換えることで作業の迅速化やコストの削減を図っている。これから、何らかの業務が大量に自動化されることは起こるが、多くの人々の仕事がなくなることはない。むしろ、新規の仕事が出てくることも考えられる。そのような中で、元来多くの部分を人が担ってきた「経営」において、AI はどれだけ活用することができるのだろうか。

今日 AI を始め、情報技術の発展により、様々なモノやサービスが生み出されている。変化の激しい社会において、新しい技術を理解し、その可能性を追求することは重要である。また、「経営」と言っても戦略や管理などその機能は様々であり、AI の活用できる分野は未知数である。そして、AI の導入にはその業務の明確化が必要である。そのため、私たちのチームは討論テーマとして「企業経営と AI」、サブテーマとして「経営における AI の機能と利活用の限界」を掲げ、経営と AI の組み合わせから考えて可能性を議論していきたいと考える。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

東洋 大学 西澤昭夫 ゼミ 西澤昭夫 パート

22

部門番号

部門名

経営学総論

テーマ

オリンピックに対応する経営戦略

サブテーマ

ポストオリンピックに向けた戦略イノベーション

趣意文

現在、2020年の東京オリンピックに向けて様々な改革が進んでおり、日本経済はデフレ脱却の兆候もみられる。こうした兆候に加え、2020年オリンピックは、過去国内で開かれたオリンピックの中でも経済効果が一番大きいと予測されている。だが、オリンピックがもたらすものは、プラス面だけでなくマイナス面もある。

例えば、1964年に開催されたオリンピックだけでなく、他国で開かれたオリンピックでも開催後に不況になった事例が多くみられ。オリンピックに向けた施設整備の公共投資がなくなり、さらに「負のレガシー」などの悪影響も懸念される。また、今回のオリンピックで注目されるのが、外国人観光客による経済効果である。現在、訪日観光客数が過去最多となっており、2020年にはさらに多くの観光客が見込まれる。インバウンド効果の拡大である。しかし、その効果が一時的なものとしたら、開催後にはさらに厳しいマイナス効果になってしまう。加えて、現在の日本では深刻な人手不足に悩まされている。

従って、プラス面をただ追及するのではなく、マイナス面をどう回避するかも考えなければならない。そのうえで企業は利益を追求するとともに、様々なリスクを想定しつつ、一時的ではなく、持続的に成長できる戦略が必要になる。そこで、過去に開催されたオリンピックの開催後の不況を各国の企業がどう乗り越えたかを調査・分析し、その調査・分析を踏まえた上で、プラス面を活かしつつ、ポストオリンピックを乗り切るイノベティブな戦略モデルを提示したい。